

母校訪問

～誇りを持てる仕事に就けて良かった～

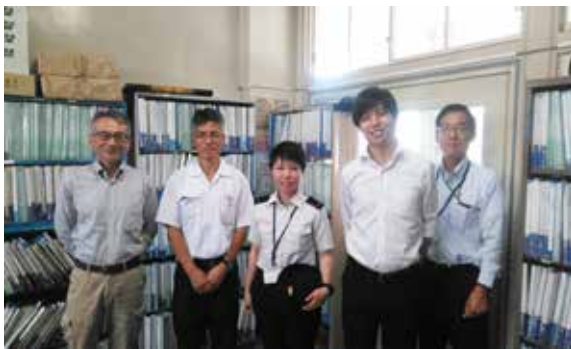
自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原1陸尉）は、6月25日（火）朝霞駐屯地女性教育隊で一般曹候補生課程教育中の宇佐美 汐音2陸士の母校、磯子工業高校（横浜市）訪問に同行した。6

月末の卒業式を前に学校を訪れ、当初やや緊張気味だったものの当時の各担当の先生達と話しを交わす内にリラックスしたようだった。進路担当の井上先生からは「制服が似合っ

て凛々しい」英語教諭の戸浪先生からは「得意だった英語は活かされていますか」の質問に対して、「今はそんな余裕はないが、将来日米共同訓練等で活かせたらと思っています」と話した。その他生活面では、「入

隊当初は宮内が建物8階にあり教育もきつく感じていたが、訓練等で体力もついてきたので、それは感じなくなり、区隊長や班長にも優しく指導してもらい、また同期とも仲良くできて充実した楽しい毎日を過ごせています」教育期間中の一番の思い出は、「野外訓練の時、悪天候で足場が悪い中、25km行軍に臨み、とても辛い思いをしたが、今ではいい経験になった」と当時を振り返っていた。最後に「卒業後は希望の任地と職種に行けることになり、次の教育が楽しみです」と満面の笑みで話した。先生からは「誇りを持てる仕事に就けて良かった。応援しているから頑張れ」などと激励の言葉をもらい学校を後にした。

上大岡募集案内所は、「このような卒業生の母校訪問などを通じて、学校との連携を密にして、募集成果に繋いでいきたい」としている。



左から、国語担当の立野先生、進路・電機担当の井上先生、宇佐美2陸士、英語担当の戸浪先生、平原所長

明德学園相洋高等学校母校訪問について

自衛隊神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 信國2陸尉）は、6月25日（火）明德学園相洋高等学校（小田原市）へ平成31年3月に同校を卒業し、現在東部方面混成団第117教育大隊（武山駐屯地）で前期教育中の山本 朋弥2陸士と若本陸曹長（担当広報官）による母校訪問を行った。

山本2陸士は、担任、部活顧問及び進路指導担当教諭等に対して、教育隊での訓練や生活など近況報告をするともに自衛官募集の説明を実施した。

制服姿の山本2陸士の姿を見た担任及び部活顧問教諭等からは、凛々しい制服姿に対して「立派になったね」「凛々しい」などの声が聞かれた。

山本2陸士は、教諭等との懇談の後、職員室等を回り職員や後輩に対し声掛けするなど広報活動を積極的に実施した。「母校を訪問し少し成長した姿を恩師などに見せる事ができ嬉しく思うと共に、今後も隊員自主募集等の募集活動を積極的に実施して行きたい」と熱く語ってくれた。

小田原地域事務所は、「今後も、母校訪問等を実施し西湘地区の学校に対し自衛隊を理解、周知し自衛官募集につなげていきたい。」としている。

「後期教育配属先」

陸上自衛隊 名寄駐屯地 第3普通科連隊 教育隊（迫撃砲）



担任教諭と山本2陸士

